

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-61915

(43) 公開日 平成7年(1995)3月7日

(51) Int.Cl. <sup>4</sup>	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 K 7/48				
7/00	K			
	C			
	X			

A 6 1 K 37/ 02

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 12 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願平5-162513	(71) 出願人	000176110 三省製薬株式会社 福岡県大野城市大池2丁目26番7号
(22) 出願日	平成5年(1993)6月30日	(72) 発明者	本多 伸介 福岡県大野城市大池1丁目10-7
		(74) 代理人	弁護士 庄子 幸男

(54) 【発明の名称】 皮膚外用剤

(57) 【要約】

【構成】 コウジ酸及び／又はその誘導体と、アセロラ、イチョウ、イナゴマメ、エイジツ、ゲンノショウコ、シソ、シナモン、スイートマヨナラ、タイム、パプリカ、ヒップ、ラン、ルビナスからなる群から選ばれる植物のエキス的一种または二種以上を有することを特徴とする皮膚外用剤。

【効果】 コウジ酸及び／又はその誘導体の色白作用を相乗的に高めるとともに、皮膚へのなじみを高めることによって、色白作用の持続性を高めた皮膚外用剤を提供する。